

デージー ー特性審査基準案

本基準はBellis perennis L.を対象とし、調査は特に記載のない限り、通常栽培条件下（夏蒔 露地、霜よけ栽培）で健全に生育した株の開花最盛期に行うこととする。

尚、形質のうち、既存品種の判別に重要な形質には★印を付けた。

本審査基準は重要な形質を定める最新の告示を反映しておりません。
出願等にあたっては、最新の重要な形質をご確認ください。
（以下HPの植物区分ごとの特性表参照。
→https://www.maff.go.jp/j/shokusan/hinshu/info/sinsa_kijun_jp.html）
なお、それぞれの重要な形質に対する定義等に変更されておりません。

重要形質	形質	定義		状態・区分	標準品種	備考
草型	★1 株の草型	株全体の形。分枝、株高、株張りの状態から判別する 図1 参照	1 2 3 9	立ち性 中間 横張り性 その他	モンスターシリーズ イトナ ホントネットシリーズ	第2分げつまたは第3分げつで観察する。 1番花に特長がでる等、その品種の特長が表れる時期に観察する。
草丈	★2 草丈	地際から花の上部まで。 図2 参照	3 5 7	低 中 高	シベリウスシリーズ イトナ モンスターシリーズ	1番花を観察する。
株張り	★3 株張り	株の直径 図2 参照	3 5 7	狭 中 広	アーリーイトナ シベリウスシリーズ ホントネットシリーズ	開花盛期から後期にかけて観察する。
花茎	★4 太さ	花茎の中間部の直径	3 5 7	細 中 太	カーペットシリーズ イトナ シベリウスシリーズ	
	5 色	花茎の上部の色	1 2 3 9	淡緑 緑 濃緑 その他	ムルチホワイト 八尾イトナ	
	6 アントシア	アントシアの発色の有無	1 9	無 有		
分枝性	★7 分枝性	分枝の数 図3 参照	3 5 7	少 中 多	シベリウスシリーズ ホントネットシリーズ	
葉形	8 葉形	図4 参照	1 2 3 9	I 形 II 形 III 形 その他		株のなかで平均的な葉を選んで観察する。
	9 鋸歯の程度	図5 参照	3 5 7	弱 中 強	モンスターザレット	

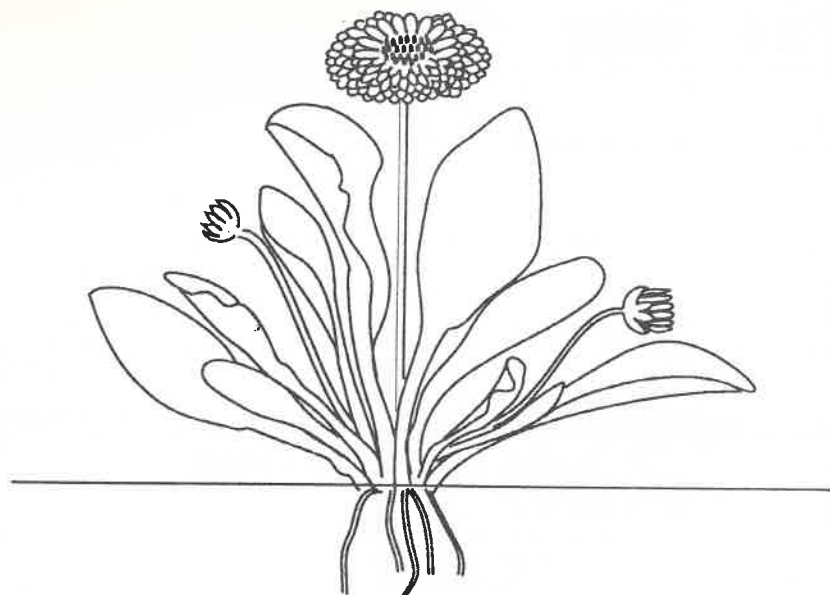
重要形質	形質	定義		状態・区分	標準品種	備考
	10 波うち	図6 参照	3 5 7	弱 中 強		既存品種の鋸歯の形質は安定していないが、 観賞上重要なので将来性を鑑み取り上げる。
葉の大きさ	★11 葉身長	最大葉を観察する。 図7 参照	3 5 7	短 中 長	ホッポネットシリーズ シベリウスシリーズ	
	★12 葉身幅	図7 参照	3 5 7	狭 中 広	ホッポネットシリーズ シベリウスシリーズ	
葉色	★13 葉色	葉の表面の色	1 2 3 9	淡緑 緑 濃緑 その他	ホッポネットシリーズ	
	14 斑		1 9	無 有		既存品種に無い形質であるが、将来性を鑑み 取り上げる。
葉数	★15 葉数		3 5 7	少 中 多	シベリウスシリーズ ホッポネットシリーズ	分げつのスピードが速いと開花期の葉数が多く 観察される
花形	★16 頭状花序の形	図8 参照	1 2 3 4 9	ホッポネット型 エトナ型 モンストロサ型 コロナ型 その他	ホッポネットシリーズ エトナ系 モンストロサシリーズ コロナシリーズ	ホッポネット型：管咲きで重ねが多い。 エトナ型：管咲きで重ねが少ない。 モンストロサ型：弁咲きで花弁が反転しない。 エトナ型：弁咲きで花弁は反転する。
花の大きさ	★17 頭状花序の直径	図9 参照	1 3 5 7 9	極短 短 中 長 極長	ホッポネットシリーズ シベリウスシリーズ	

重要形質	形質	定義		状態・区分	標準品種	備考
	★18 頭状花序の高さ	直径に対する比。 図10参照	3 5 7	低 中 高	イトナ ホッポネットシリーズ	花弁の重ねの高さを観察する。
	★19 花芯の有無	開花盛期に花芯が見えるか 否かを判別する。	1 9	無有	ホッポネットシリーズ ホッポネットシリーズ	
	★20 花芯の大きさ	図11参照	3 5 7	小 中 大	ホッポネットシリーズ 八尾イトナ	
花数	★21 1株当りの頭状 花序の数		3 5 7	少 中 多	シバリウスシリーズ マルチシリーズ	
花弁の形	★22 辺花（舌状花）の 花弁の形	図12参照	1 2 3 4 9	平弁 内巻弁 管弁 さじ弁 その他	モンスターシリーズ イトナ 八尾イトナ	
	★22 ねじれ	図13参照	1 9	無有	旭光	
花弁の大きさ	★23 辺花（舌状花）の 長さ	図14参照	3 5 7	短 中 長	ホッポネットシリーズ モンスターサワト	成熟した周辺部の辺花を観察する。
	★24 幅	図14参照	3 5 7	狭 中 広	ホッポネットシリーズ モンスターシリーズ	成熟した周辺部の辺花を観察する。
花弁数	★25 辺花（舌状花）の 数	第一分枝の頭状花序を観察 する。	3 5 7	少 中 多	八尾イトナ モンスターシリーズ	

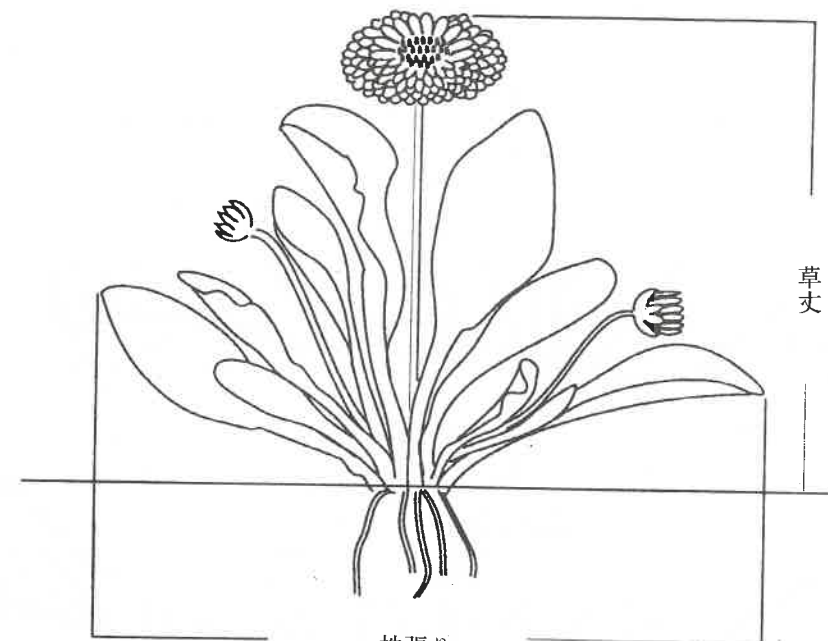
重要形質	形質	定義	状態・区分	標準品種	備考
花色	★26 単色複色の別		単色	ホッホ ネットシリーズ	
			複色		
	★27 中心部辺花(舌状花) 図15、16参照 表面の主たる色の 着色		1/2以下		頭状花全体の色を示す色を、主な色とする。
			1/2程度		
			1/2以上		
			基部まで	ホッホ ネットレット	
			その他		
	★28 周辺部辺花(舌状花) 図15、16参照 表面の主たる色の 着色		1/2以下	ホッホ ネットピンク	
			1/2程度		
			1/2以上		
			基部まで	ホッホ ネットレット	
			その他		
	29 中心部辺花(舌状花) 図15、16参照 表面の複色の着色		1/2以下		
			1/2程度		
			1/2以上		
			基部まで		
			その他		
	30 周辺部辺花(舌状花) 図15、16参照 表面の複色の着色		1/2以下		
			1/2程度		
			1/2以上		
			基部まで		
			その他		
	★31 中心部辺花(舌状花) J.H.S.カラーチャート 表面の主たる色		白	ホッホ ネットホワイト	
			ピンク	ホッホ ネットローズ	
			紅	ホッホ ネットレット	
			その他		
	★32 周辺部辺花(舌状花) J.H.S.カラーチャート 表面の主たる色		白	ホッホ ネットホワイト	
			ピンク	ホッホ ネットローズ	
			紅	ホッホ ネットレット	
			その他		
	33 辺花(舌状花)表面 の複色	J.H.S.カラーチャート	白		
			ピンク		
			紅		
			その他		

重要形質	形質	定義		状態・区分	標準品種	備考
	34 辺花（舌状花）裏面の主たる色の着色	図15、16参照	1	1/2以下	ホッホ・ネットピンク	
			2	1/2程度		
			3	1/2以上		
			4 9	基部まで その他	ホッホ・ネットレッド	
	35 辺花（舌状花）裏面の複色の着色	図15、16参照	1	1/2以下		
			2	1/2程度		
			3	1/2以上		
			4 9	基部まで その他		
★36	辺花（舌状花）裏面の主たる色	J.H.S.カラーチャート	1	白	ホッホ・ネットホワイト	
			2	ピンク		
			3	紅	ホッホ・ネットレッド	
			9	その他		
	37 辺花（舌状花）裏面の複色	J.H.S.カラーチャート	1	白		
			2	ピンク		
			3	紅		
			9	その他		
雌雄ずいの色★38	花心（管状花）部の色	図16参照	1	黄色	ホッホ・ネットシリーズ	
			2	緑黄色		
			3	黒		
			9	その他		
がくの大きさ	39 総包の大きさ	総包の直径 図17参照	3	小	ホッホ・ネットシリーズ	
			5	中		
			7	大	シベリウスシリーズ	
花の香り	40 花の香り		1 9	無 有	ホッホ・ネットシリーズ	
開花期	★41 開花始め期	1 番花の開花時期	1	極早	ムルチローズ	本来は長日開花性で、低温により開花する。 早生は日長開花性及び低温要求性が低い。
			3	早	アーリーホッホ・ネット	
			5	中	シベリウスシリーズ	
			7	晩		

重要形質	形質	定義	状態・区分	標準品種	備考
耐寒性	42 耐寒性	3 5 7	弱 中 強	ホ°ンホ°ネットシリーズ	
耐暑性	43 耐暑性	3 5 7	弱 中 強	ホ°ンホ°ネットシリーズ	
病害抵抗性	44 病害抵抗性	3 5 7	弱 中 強	ホ°ンホ°ネットシリーズ	主な病害はウドンコ病。
虫害抵抗性	44 虫害抵抗性	3 5 7	弱 中 強	ホ°ンホ°ネットシリーズ	主な虫害はアブラムシ。

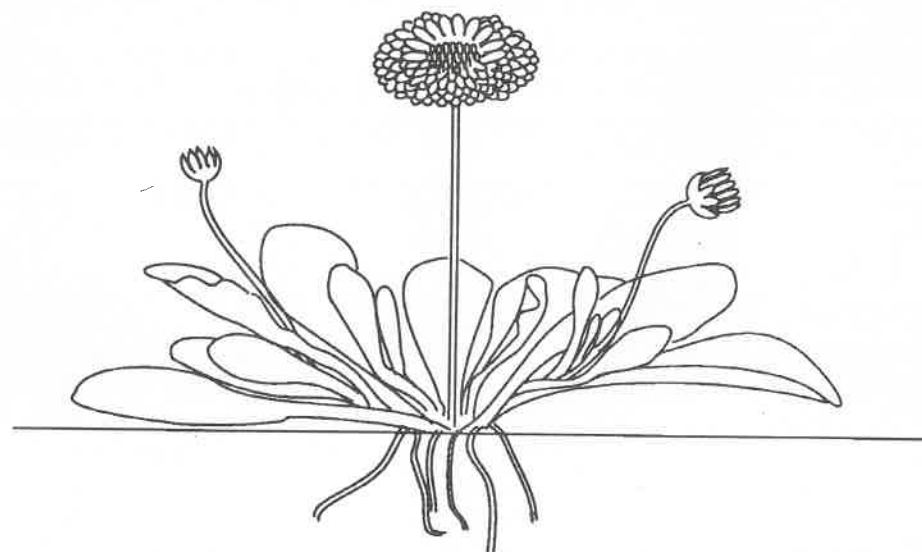


1 立ち性
erect



株張り
width

草丈



3 横張り性
spread

図1 草型
Fig.1 Plant form

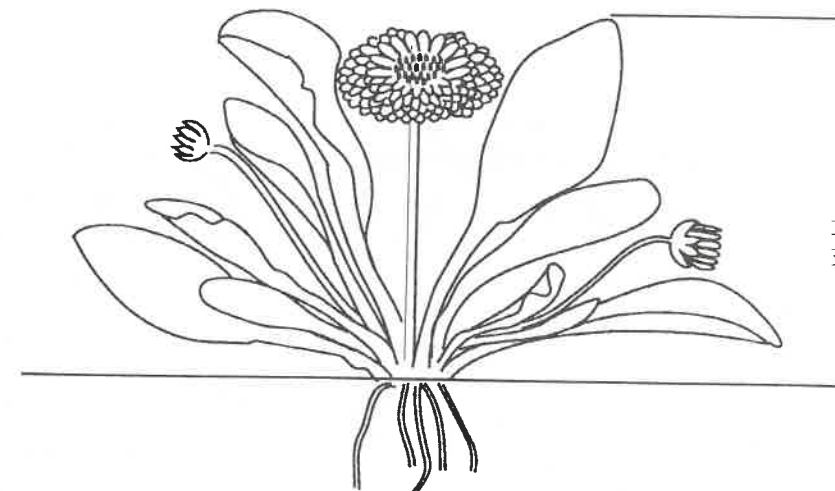


図2 草丈、株張り
Fig.2 Plant height, width

草丈

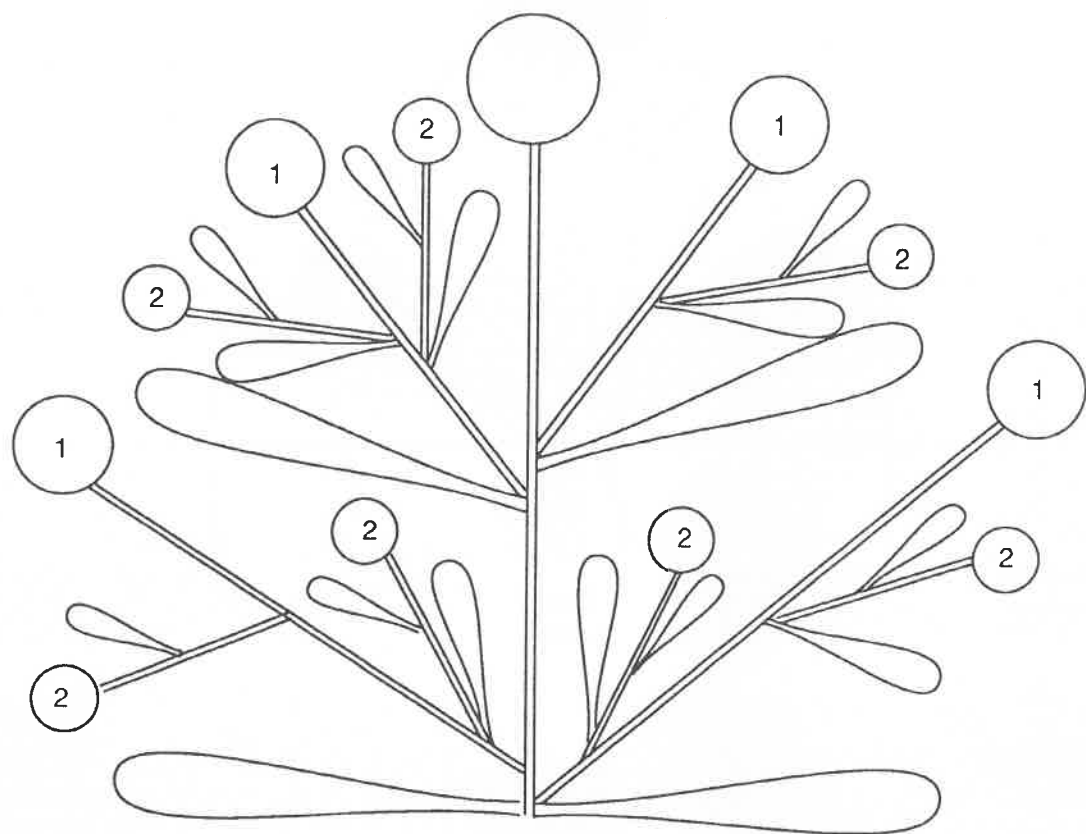


図3 分枝性
Fig.3 Branching

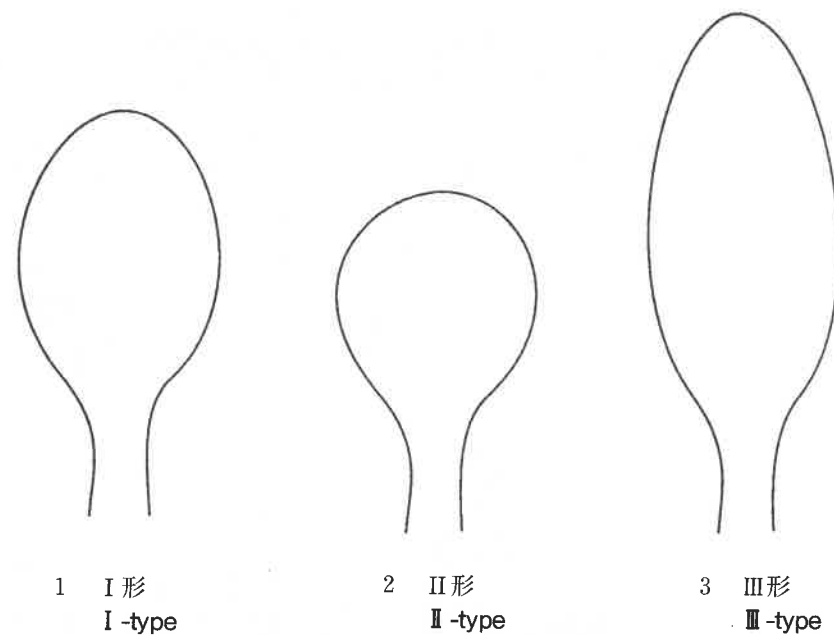


図4 葉形
Fig.4 Leaf shape

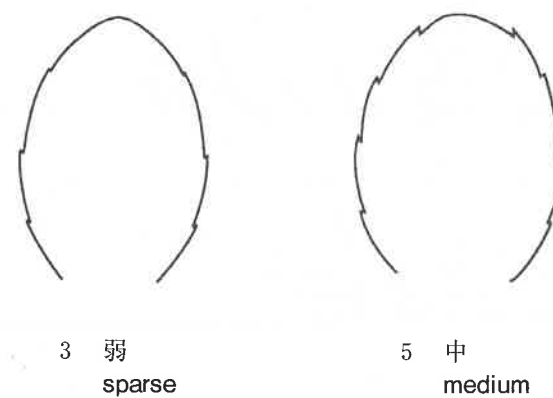
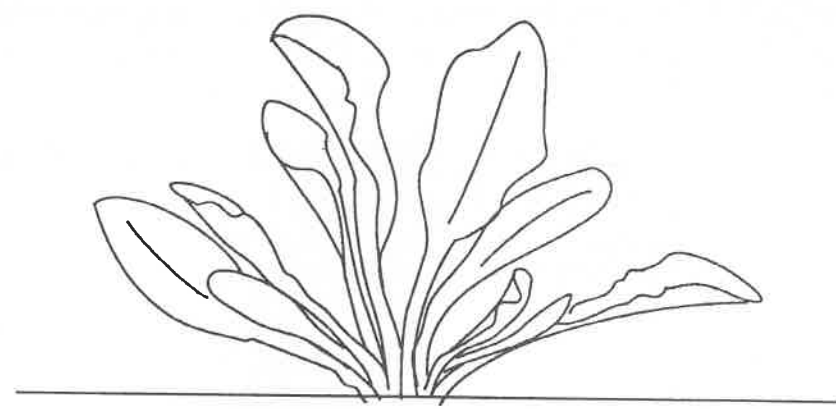
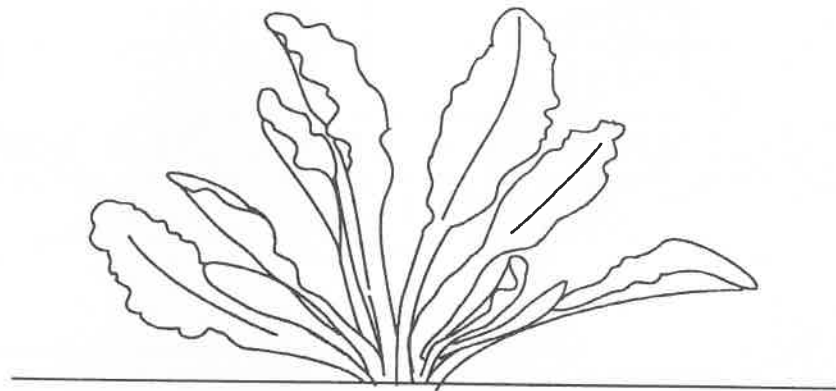


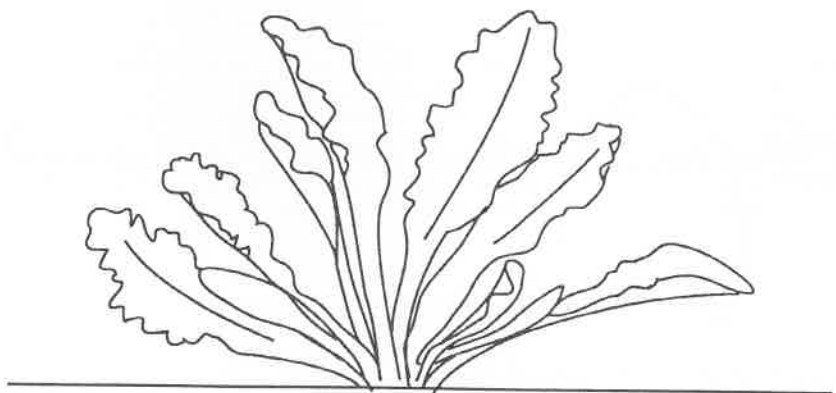
図5 鋸齒の程度
Fig.5 incision



3 弱
weak



5 中
medium



7 強
strong

図6 波うち
Fig.6 Wave

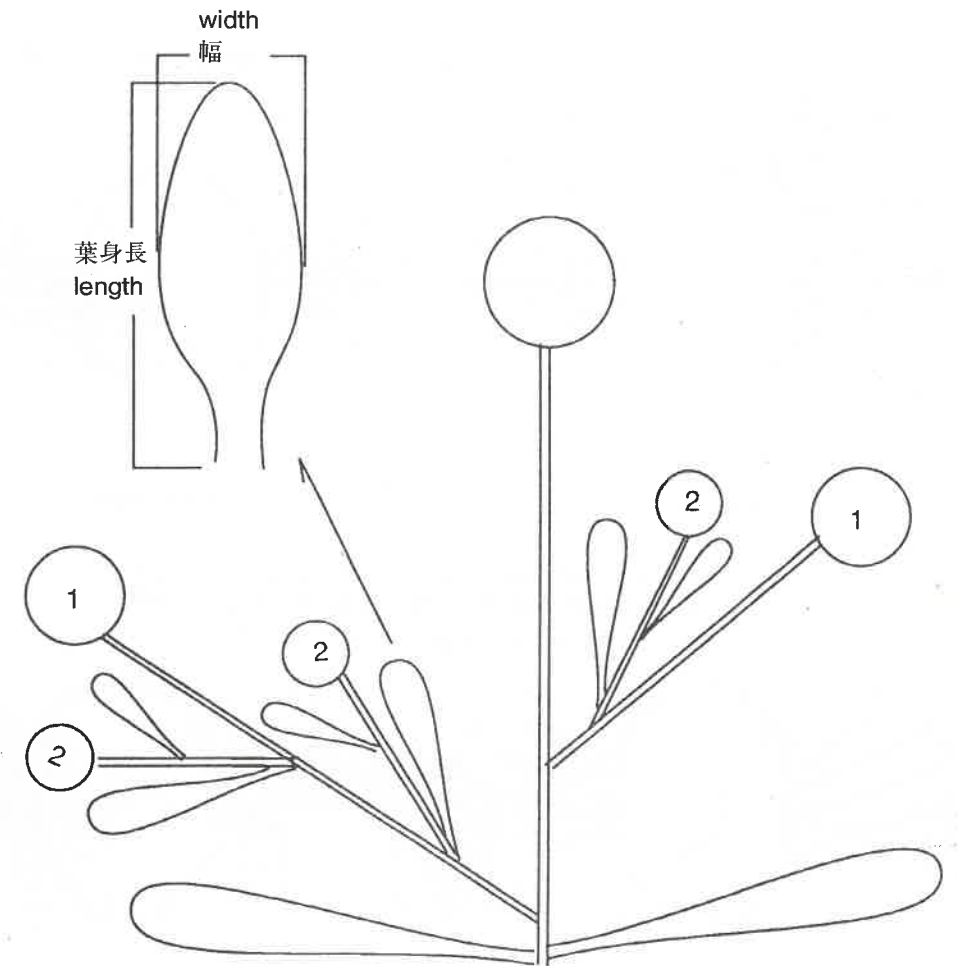
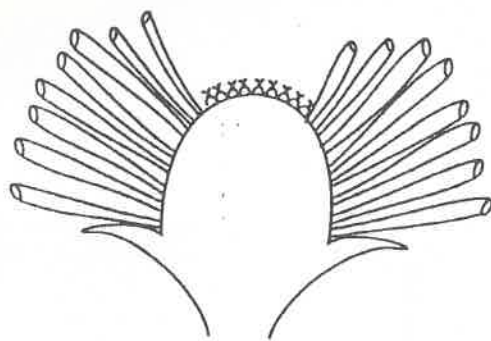
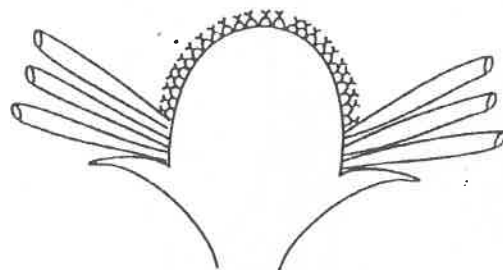


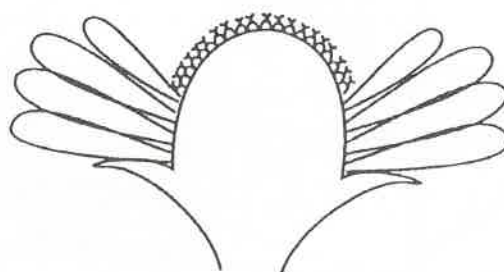
図7 葉身長、葉身幅
Fig.7 Leaf size



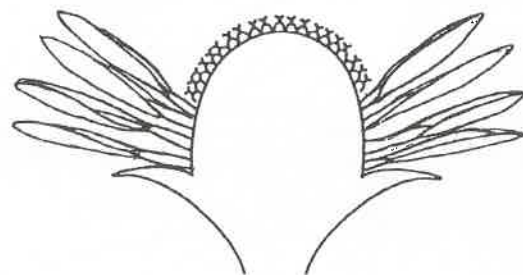
1 ポンポネット型
Pomponette type



2 エトナ型
Aetna type



3 モンストローサ型
Monstrosa type



4 コロナ型
Corona type

図8 頭状花序の形
Fig.8 Flower head:shape

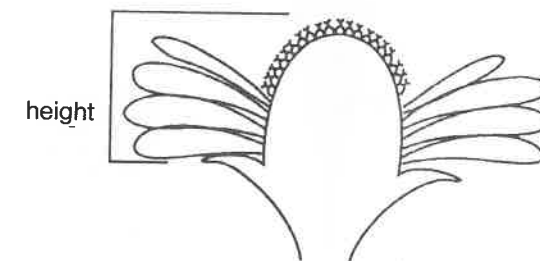
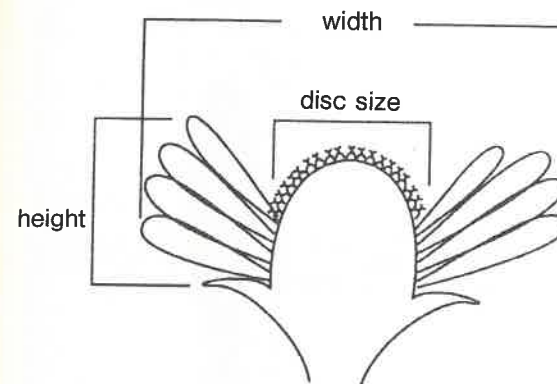


図9 頭状花序の直径 Fig.9 Flower head:diameter
図10 頭状花序の高さ Fig.10 Flower head:height
図11 花芯の大きさ Fig.11 Disc size



1 平弁
flat



2 内巻弁
inrolled



3 管弁
tubular



4 さじ弁
spoon like

図12 花弁の形
Fig.12 Ray floret:shape

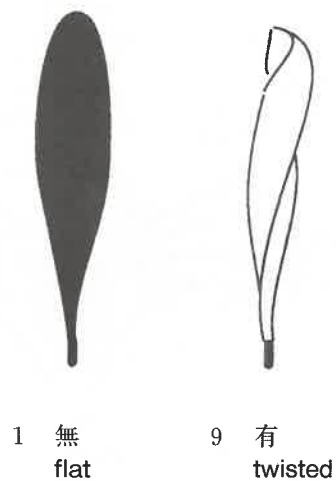


図13 花弁のねじれ
Fig.13 twisting

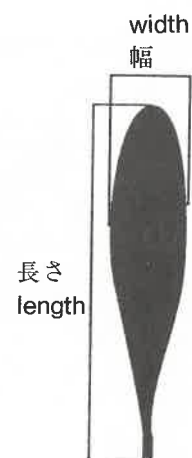


図14 花弁の大きさ
Fig.14 Ray floret size

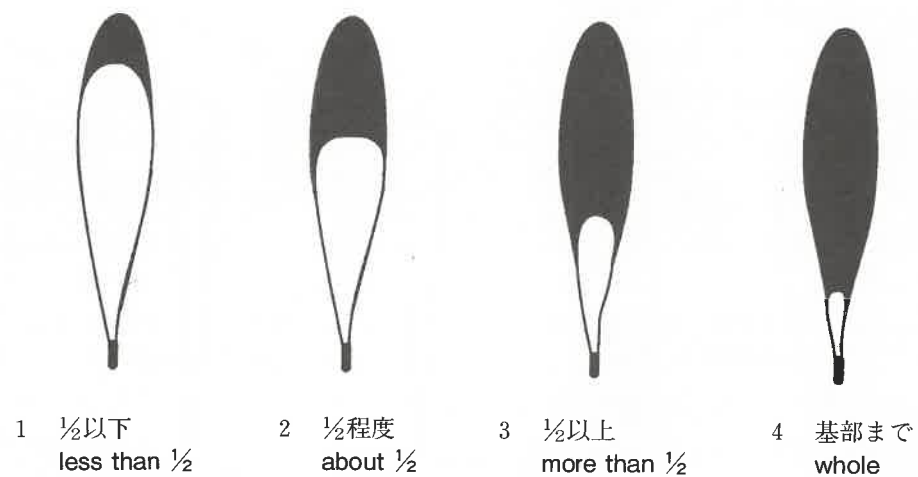


図15 中心部辺花表面の主たる色の着色
Fig.15 Ray floret color

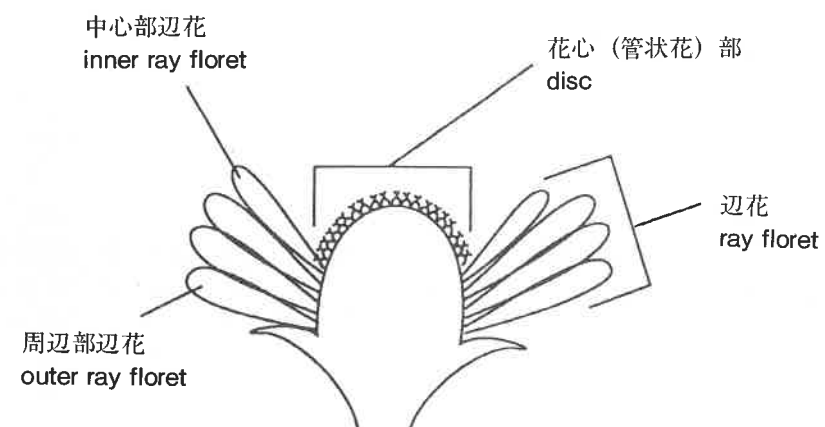


図16 各部の名称
Fig.16 Disc

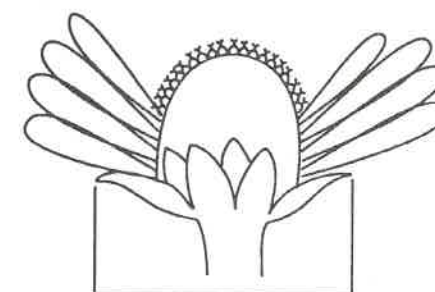


図17 総包の大きさ
Fig.17 Involucre size

特性検定のための栽培試験方法

- 1 栽培地 暖地、中間地
- 2 栽培条件 露地ないし霜除け栽培（トンネル）
温度管理：
光管理：日向
灌水：過度の乾燥を避ける
- 3 植付け条件 地床（ 6×6 株/ m^2 ）
鉢植え（3～3.5号ポット）
- 4 培養土 中性
- 5 作期 蒔種期 8～9月
定植期 本葉3～4枚
調査期 12月～翌年3月の開花最盛期
- 6 施肥 施肥量（地床： Kg/a 、鉢： Kg/m^2 ）
もと肥 月 日、窒素：リン：カリ＝
追 肥 月 日、窒素：リン：カリ＝
- 7 薬剤散布 殺虫剤 種類（ ）、回数（ ）
殺菌剤 種類（ ）、回数（ ）
除草剤 種類（ ）、回数（ ）
- 8 その他